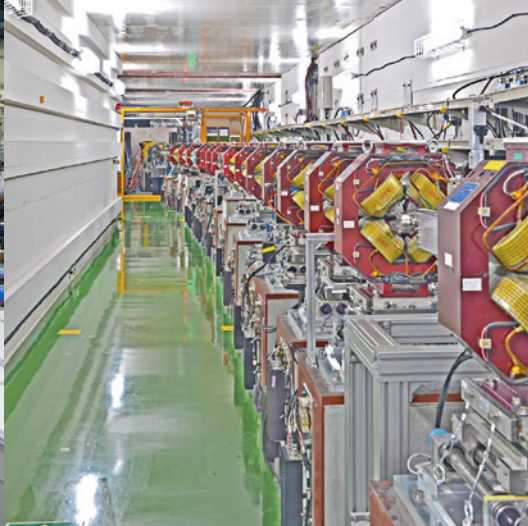




浦しま：国文学研究資料館蔵

2026-2027



大学共同利用研究教育アライアンス

Inter-University Research & Education Alliance

大学共同利用機関法人

人間文化研究機構

National Institutes for the Humanities

自然科学研究機構

National Institutes of Natural Sciences

高エネルギー加速器研究機構

High Energy Accelerator Research Organization

情報・システム研究機構

Research Organization of Information and Systems

国立大学法人

総合研究大学院大学

The Graduate University for Advanced Studies, SOKENDAI

大学共同利用機関法人と総合研究大学院大学の活動

大学共同利用機関と大学共同利用機関法人

大学共同利用機関は、特定の高等教育機関には属さない独立の組織として、国公立大学の共同利用・共同研究を支える、世界的に見て大変ユニークな研究機関です。学術の最先端分野を新たに開拓する大型研究プロジェクト等を推進することで、各研究機関の学術領域の枠組みを越えて、我が国の研究力強化に貢献しています。また、世界的な枠組みに積極的に関与していける人材の育成、学問分野や国境を越えた研究成果の共有・発信に取り組んでいます。

大学共同利用機関は古いものでは半世紀以上の歴史がありますが、2004年に4つの大学共同利用機関法人（機構）として編成されました。

人間文化研究機構、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構は、大学共同利用機関法人として、計17の大学共同利用機関を設置、運営しています。

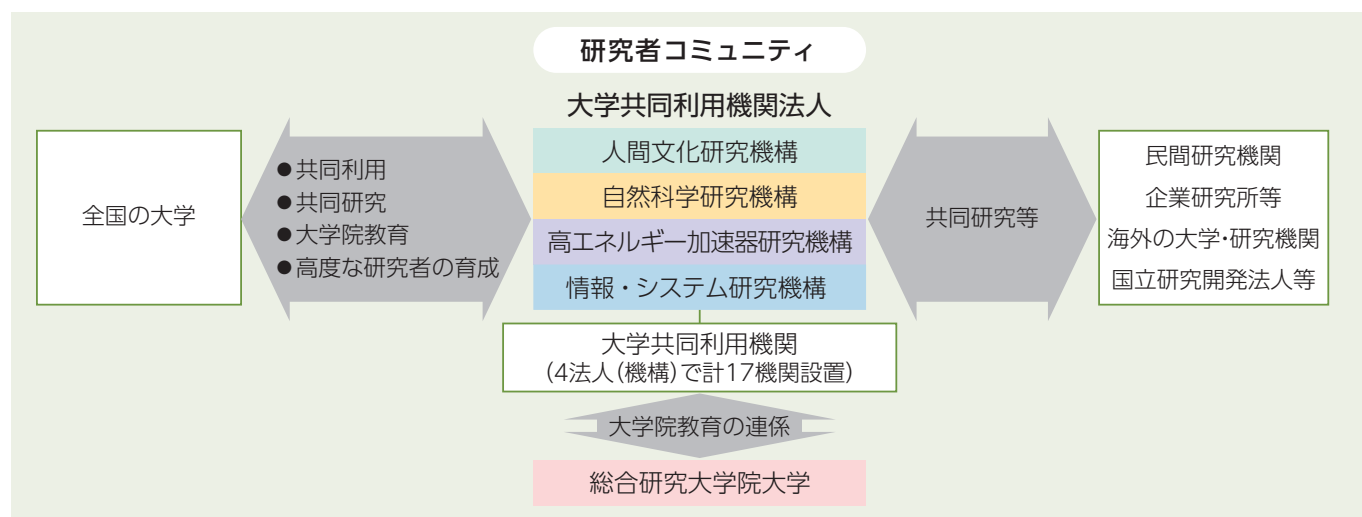
大学共同利用機関の活動

大学共同利用機関は、「研究者コミュニティによって運営される研究機関」であり、各大学の枠を越え、全国の大学等の研究者に共同利用・共同研究の場を提供する中核拠点、国際的な頭脳循環のハブ、ならびに異分野融合・新分野創成を推進する役割を果たすとともに、各機関の特性を踏まえた機能強化に努めています。

また、個々の大学では維持することが難しい大規模な実験・観測施設、及びデータベースや研究資料等を整備して、大学等の研究者がこれらを利用し、効果的に先端的な共同研究ができるようにしています。

さらに、総合研究大学院大学の基盤機関として、新しい時代を担う研究者養成を行っているほか、全国の大学より特別共同利用研究員等として大学院生の受け入れを行うなど、研究と教育の一体化により、次世代の人材育成に取り組んでいます。

我が国の学術機関の中核的研究拠点として



大学の研究力強化への貢献

大学共同利用機関では、全国の国公立大学等から例年延べ約2万人の研究者を受け入れ、共同利用・共同研究の場を提供しています。大型研究設備や先端研究機器の共同利用をはじめ、貴重な研究資料やデータの共用、研究討議等により、全国の大学の研究力強化に貢献するとともに、質の高い論文執筆にも寄与しています。

2021-2025	Top1%論文率	Top10%論文率	国際共著率
4機構との共同研究論文等 14,984本	2.1%	12.6%	57.9%
日本の総論文 590,922本	1.0%	7.7%	34.1%

InCites調べ
注：4機構の共同研究論文等…日本の研究機関と4機構いずれかに所属する研究者が著者に入っている論文 / TOP1%…被引用数(分野補正有り)上位トップ1%に入っている論文の割合 / TOP10%…被引用数(分野補正有り)上位トップ10%に入っている論文の割合 / 国際共著率…外国の機関所属の研究者が著者に含まれる論文の割合

総合研究大学院大学における教育研究

総合研究大学院大学は、我が国では初めての学部を持たない大学院として設置された国立大学です。大学共同利用機関は総合研究大学院大学の基盤機関として構成されており、各機関の持つ特色や最先端の研究環境を最大限活かし、研究と教育を一体化させることにより、各機関の研究者の多くが参画して博士課程の教育研究を実施しています。

大学共同利用機関等との緊密な関係ならびに協力の下に、それらの優れた人材と研究環境を基盤とした博士課程の教育研究の提供を特色としています。こうしたユニークな教育研究環境において、新しい学問分野を開拓するとともに、それぞれの専門分野において学術研究の新しい流れに先導的に対応することのできる優れた研究者の養成を目的としています。

一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス <https://iu-real.jp/>

人間文化研究機構、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構と総合研究大学院大学は、5法人が社員となる「一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス（略称:IU-REAL）」（以下「アライアンス」という）を、2022年3月1日に設立しました。

アライアンスは、5法人が一体的な研究教育活動を通じてその機能を十分に発揮するため、①研究力強化のための連携事業、②大学院教育の充実や若手研究者の育成のための連携事業、及び③効率的な業務運営に資する連携事業を企画し、推進します。また、5法人の大学共同利用の機能を強化する取組を通じて、研究教育・共同利用の両面から、大学や研究機関等の活動に貢献し、我が国の学術研究の発展に寄与してまいります。

アライアンスの主な活動

1. 研究力強化のための連携事業

▶主な活動例

新分野創成・異分野連携の推進 アライアンスの企画・調整のもと、5法人が連携して新たな異分野融合研究を企画、推進します。本事業は、文理融合の共同研究の推進を目的とし、分野の枠を越えた新たな研究者間連携を目指します。

大学との幅広い連携構築 大学共同利用機関が行う共同利用・共同研究活動について、大学の研究力強化の立場から意見交換を行うための対話の場を構築します。

IR (Institutional Research) による研究機能強化 共同利用・共同研究が我が国の大学の研究力強化に大きく貢献していることを、IR活動を通して見える化し、大学共同利用機関の更なる活用促進を図ります。

分野を横断する共通知であるデータサイエンスの推進 情報・システム研究機構が中心となり、データ駆動型の研究に欠かせないデータ共有、解析、同化等に係る基盤技術を提供・普及させることを目指し、大学・研究機関等におけるデータサイエンスの進展に貢献します。

2. 大学院教育の充実及び若手研究者の育成のための連携事業

我が国の学術研究及び科学技術・イノベーションに貢献する人材を育成するために、総合研究大学院大学の博士後期課程相当に在籍する優秀な志のある学生をSOKENDAI特別研究員として採用し、経済的な支援を行うとともに、多様なキャリアパスの整備に向けた取組を行います。

3. 効率的な業務運営に資する連携事業

各法人が蓄積してきた技術・経験・ノウハウを持ち寄り、個別に実施してきた各種研修等の一体的な実施や、法改正等により共通して生じる新たな課題等に対応する体制構築などを通じ連携して、業務の効率化、省力化を図ります。

このほか、大学共同利用機関／機構それぞれの分野における国際的中核拠点としての役割をアライアンスのスキームで組み合わせることにより、国際連携のためのプラットフォームの形成に向けた取組を進めています。



人間文化の新たな価値体系の創出を目指して

人間文化研究機構 (NIHU) は、国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所及び国立民族学博物館の6つの機関で構成されています。各機関は基盤研究を進めるとともに、学問的領域を超えて協働し、自然環境をも視野に入れた、人間文化に関する総合的研究拠点を形成しています。また、膨大な文化資源に基づく実証的研究、人文学の総合化を目指す理論的研究などはもとより、自然科学との連携も含めた新しい研究領域の創成に努め、人間文化に関わる総合的学術研究の国際的拠点を目指しています。

国立歴史民俗博物館 National Museum of Japanese History

日本の歴史と文化に関する研究を推進するために設置された博物館機能を有する大学共同利用機関です。資源・研究・展示を有機的に連鎖させ積極的に共有・公開する研究スタイル「博物館型研究統合」を継続しつつ、国内外の研究者等との学際的な共同研究を行い、分野を超えた共同利用環境を構築することで、異分野融合による新たな歴史像の構築を推進していきます。



国立歴史民俗博物館 国立台湾歴史博物館(台湾)との「鄭成功」をめぐる国際共同研究会

国文学研究資料館 National Institute of Japanese Literature

国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとするさまざまな分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基礎的な総合研究機関です。創設以来50年以上にわたって培ってきた日本の古典籍に関する資料研究の蓄積を活かし、国内外の研究機関・研究者と連携し、日本の古典籍を豊かな知的資源として活用する、分野を横断した先端的研究の創出に取り組めます。



国文学研究資料館 国文研DDHプロジェクトキックオフシンポジウム

国立国語研究所 National Institute for Japanese Language and Linguistics

日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的・中核的研究拠点として、世界の諸言語の中で日本語が持つ特質や言語としての普遍性、日本語の多様性を総合的に明らかにしようとしています。日本語研究の深化・国際化と新領域の開拓を促進するため、国内外の大学・研究機関と大規模な共同研究を展開するとともに、その成果として得られた言語研究資源を共同利用に提供しています。



国立国語研究所 消滅危機言語・方言の聞き取り調査風景

国際日本文化研究センター International Research Center for Japanese Studies

日本文化研究の国際的拠点としての役割を担う研究機関です。主な活動である共同研究では、日本文化について国際的視野からの異分野融合的なテーマを設定し、国内外から多様な専門分野の研究者が参加して研究を展開しています。また、毎年多くの海外研究者を受け入れるとともに、国際シンポジウムやフォーラム等を開催して学術交流や研究情報の収集・発信を行っています。



国際日本文化研究センター アムステルダム大学との共催で開催した国際シンポジウムの様子

総合地球環境学研究所 Research Institute for Humanity and Nature

地球環境問題を「人間humanity」と「自然nature」の関係の問題、つまり人間文化の問題ととらえ、解決に向けた総合的研究を行う研究所です。経営方針に則り企画されるプログラムのもと、期間を定めて集中的に国内外の共同研究プロジェクトを実施しています。研究者コミュニティだけではなく、地域住民をはじめ、社会の多様なステークホルダーと協働することで、地球環境問題の解決に向けた超学際研究を推進します。



総合地球環境学研究所 ニジェールの緑化と牧夫家族の家畜放牧(有機物循環プロジェクト)

国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

文化人類学・民族学の国際的な研究・共同利用拠点として、世界各地の社会・文化についての調査・研究をおこなう一方、文化資源の集積と展示を通じたその情報の発信を国際的な連携のもとに進めています。集積された文化資源に関しては、オンライン上にも「フォーラム型人類文化アーカイブズ」を構築し、それぞれの文化の担い手とも情報を共有・共同利用することで、新たな知の創出をはかっています。



国立民族学博物館 民博に収蔵するアイヌ文化関係資料の安全な保存・継承を祈る儀式、カムイノミ

自然科学研究分野の中核拠点として、分野を越えた共同利用・共同研究と国際共同研究を促進

自然科学研究機構 (NINS) は、宇宙・エネルギー・物質・ヒト・生命の自然科学研究に取り組む5つの研究機関と、直轄の2研究センターを設置・運営している大学共同利用機関法人です。国内外の共同利用・共同研究の中核拠点として最先端の自然科学研究を推進するとともに、分野融合型研究の推進と若手研究者の育成に取り組むことで、日本の研究力基盤強化と人類のさらなる発展を目指しています。

国立天文台 National Astronomical Observatory of Japan

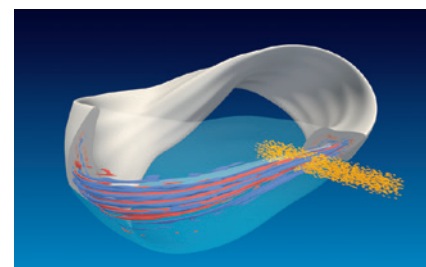
天文学は人類最古の学問のひとつです。そこには、宇宙の構造を知ることを通して、自らの成り立ちを明らかにしたいという、人類が持つ根源的な欲求が込められています。常に新しい観測手段に挑戦し、地球・太陽系天体から太陽・恒星・銀河・銀河団・膨張宇宙にいたる宇宙の諸天体・諸現象についての観測と理論研究を深めることによって、人類の知的基盤をより豊かなものとし、宇宙・地球・生命を一体として捉える新たな自然観創生の役割を果たしたいと考えています。



国立天文台 アルマ望遠鏡空撮

核融合科学研究所 National Institute for Fusion Science

核融合反応は、宇宙における普遍的現象であり、宇宙のあらゆる活動のエネルギー源になっています。私たちの地球環境も太陽の核融合エネルギーによって維持されています。核融合エネルギーを私たちが利用できる形で実現するために必要となる高温プラズマの振る舞いから、ミクロな量子プロセスや材料科学、装置を構成する機器の工学技術まで、様々な課題に国内外の共同研究者とともに取り組むことによって、核融合科学の進展とともに、広く科学技術の基盤形成に寄与します。



核融合科学研究所 プラズマの粒子シミュレーション

基礎生物学研究所 National Institute for Basic Biology

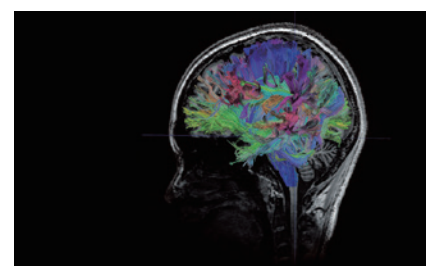
宇宙にある無数の星の中で地球の最大の特徴は、多種多様な生物に満ちていることです。約40億年の年月の間に、生物は多彩な姿と驚くような能力を獲得し、子孫を増やしてきました。遺伝子・タンパク質・細胞・組織・個体・異種生物間の相互作用など、多階層、超階層にわたる研究技術・手法の開発を推進し、多くの生物に共通する基本的な仕組み、生物が多様性をもつに至った仕組み、及び生物が環境に適応する仕組みなどを解き明かす研究を、国内外の研究者と連携して行っています。



基礎生物学研究所 研究対象の様々な生物たち

生理学研究所 National Institute for Physiological Sciences

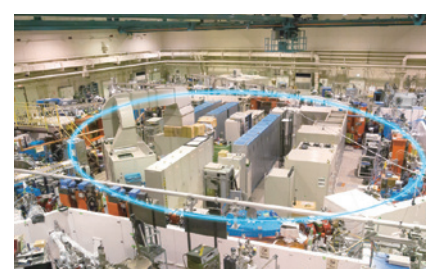
ヒトのからだ、とりわけ脳の働きに関する最先端の研究を推進し、国内外の研究者と共同研究を行い、大学院生を含む若手研究者の育成を行う研究機関です。分子・細胞からヒト個体のレベルに至る様々なからだの仕組みを理解する多様な研究を支えるため、多くの世界最先端の測定装置が設置されています。これらの計測機器の測定・解析技術の向上に努め、国内外の研究者へ装置と測定技術を幅広く供することで、日本の生理学研究の中核を担っています。



生理学研究所 ヒト脳の神経線維走行

分子科学研究所 Institute for Molecular Science

分子科学は、分子がその姿を変化させる化学反応や分子間相互作用の本質を、理論と実験の両面から明らかにすることを目的とした学問です。理論・計算、光、物質、生命・錯体を扱う4つの基盤研究領域に加えて、協奏分子システム研究センター、メゾスコピック計測研究センターを設置し、最先端の技術や装置が利用できる共同研究の場を国内外の研究者に提供し続けています。また、全国の大学と連携し、大学・公的研究機関・民間企業の研究者が各参画組織の所有設備を安価に共同利用できるシステム(大学連携研究設備ネットワーク)を構築しています。



分子科学研究所 極端紫外光研究施設 (UVSOR)

世界の大学の研究者や大学院生に最先端の研究の場を提供

高エネルギー加速器研究機構 (KEK) は、最先端の大型粒子加速器を用いて、素粒子や原子核の研究から原子や分子レベルでの物質の構造や機能の研究、生命体の生命活動の研究まで、幅広い基礎科学の研究を行っています。高エネルギー加速器とは、電子や陽子などの粒子を、ほぼ光の速さまで加速して、高エネルギーの状態を作り出す装置です。この高エネルギー状態から作られる素粒子の世界を研究すると、誕生直後の宇宙の様子を探ることができます。また、加速器が作る放射光や陽電子、中性子、ミュオンなどの量子ビームは、倍率の高い顕微鏡として、これまでに見ることができなかった物質の構造や、生命活動の研究を行うことができます。

素粒子原子核研究所 Institute of Particle and Nuclear Studies

素粒子物理学、原子核物理学、宇宙物理学といった極微な世界から広大な宇宙までの幅広い分野に対して、理論及び実験の両側面からの総合的研究を行っています。物質を構成する素粒子や原子核、さらにそれらに働く力の性質を明らかにすることで、世界を構築している法則はどんなものか、宇宙はどうやってできたのか、なぜ生命は存在できるのか、などの「根源的な謎」の解明に挑んでいるほか、各種実験を支える先端測定機器の技術開発を行っています。

物質構造科学研究所 Institute of Materials Structure Science

電子加速器から発生する放射光や低速陽電子、陽子加速器によって作り出される中性子やミュオンなどの量子ビームを利用し、原子レベルからマクロスケールにいたる幅広い階層の構造と機能との関係を総合的に研究しています。また、ビーム生成、利用技術などの開発研究を通して、幅広い物質科学の発展に貢献しています。

加速器研究施設 Accelerator Laboratory

世界最先端の加速器を開発、建設するとともにそれらの運転・維持及びビーム性能の向上を担っています。素粒子・原子核物理学、物質・生命科学などの研究を推進するために高性能で安定したビームを学界だけでなく産業界を含む国内外の研究者に提供しています。

共通基盤研究施設 Applied Research Laboratory

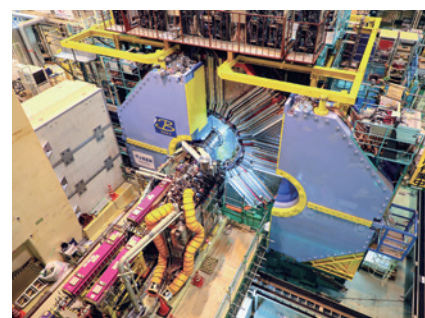
大型加速器施設の運用とその共同利用や研究計画に関わる、放射線防護・検出器、環境保全、計算科学、超伝導・低温技術とその応用、精密加工技術などの研究活動を行っています。また、これらに関連する高い基盤技術を用いて、放射線・環境安全管理、コンピューターやネットワークの管理運用、液体ヘリウム等の供給、機械工作などの支援業務を行っています。

量子場計測システム国際拠点 International Center for Quantum-field Measurement Systems for Studies of the Universe and Particles

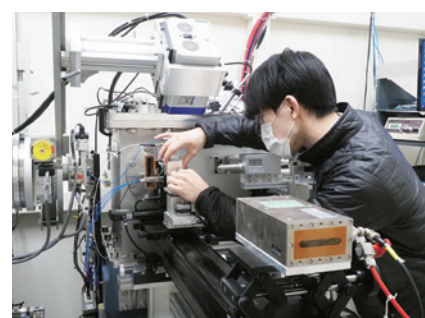
素粒子物理、宇宙物理、物性物理、計測科学、システム科学を融合して新しい量子場計測システムの発明・開発を行っています。そして、宇宙観測や素粒子実験における計測に革新をもたらす、時空と物質の真の姿を解明することを目指しています。また、広い学問分野への応用と社会実装に向けた研究も産学の垣根を超えて推進しています。

J-PARC センター J-PARC Center

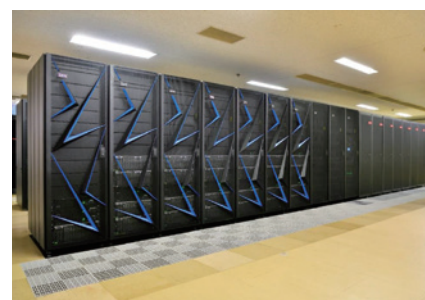
世界最高クラスの大強度陽子ビームを生成する加速器と、その大強度陽子ビームを利用する実験施設で構成される最先端科学の研究施設で、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 (JAEA) と KEK が共同で運営しています。素粒子・原子核物理学、物質・生命科学など基礎研究から文化財の非破壊検査、そして新産業創出につながる応用研究に至るまで、幅広い分野の最先端研究を行っています。



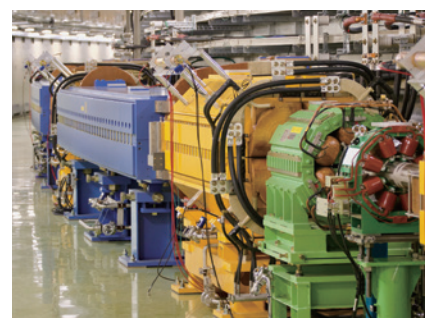
国際共同で進められている Belle II 実験



放射光実験施設フォトンファクトリーのビームラインにて



KEK 中央計算機システム



J-PARC 主リング

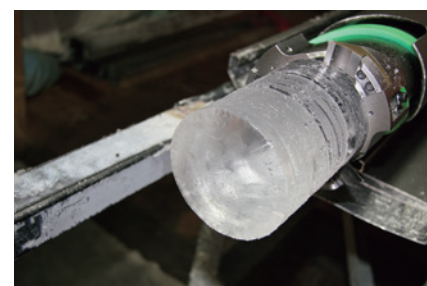
情報・システム研究機構

情報時代の新しい研究を拓き、現代社会の課題解決に貢献

情報・システム研究機構 (ROIS) は、極域科学、情報学、統計数理科学、遺伝学における国際水準の総合研究を推進する中核的研究機関で構成されています。21世紀の重要な課題である生命、地球、自然環境、人間社会など複雑な現象に関する問題を「情報」と「システム」という視点から捉え直すことによって、分野の枠を越えた融合的な研究を行い、その解決を目指すとともに、データサイエンスの観点から特定の研究者コミュニティの枠を越え、多様な分野の研究者を支援しています。

国立極地研究所 National Institute of Polar Research

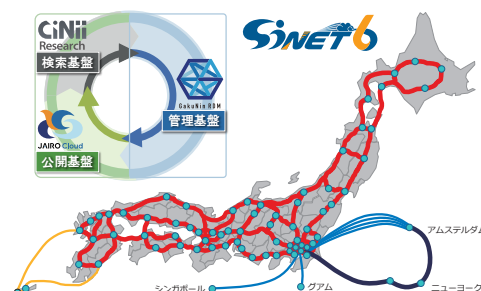
南極と北極で生じる特異な現象、極域が地球システム全体に与える影響や、海洋資源及び陸域生態系の保護などに関する、地球惑星科学・生命科学の視点での先端的研究を推進し、地球規模課題の解決やSDGsの達成に貢献します。また、南極と北極に観測基地を持ち、南極地域観測事業と北極域研究強化プロジェクト (ArCS III) では実施中核機関を務め、広く研究者に極域での観測基盤を提供しています。



国立極地研究所 南極のドームふじ基地で掘削されたアイスコア

国立情報学研究所 National Institute of Informatics

情報学という学術領域での未来価値創成を使命とする国内唯一の学術総合研究所として、情報学分野の基礎論から、人工知能、ビッグデータ、IoT、情報セキュリティなどの最先端のテーマまで、総合的に研究を推進するとともに、学術情報ネットワーク SINET 等の構築・運用、オープンサイエンスを推進する研究データ基盤の開発等に取り組み、これらを融合した学術研究プラットフォームの整備・提供を進めています。さらに国内外の大学や研究機関、民間企業等との連携・協力も重視した運営を行っています。



国立情報学研究所 学術情報ネットワーク SINET6 はほぼ全国を 400Gbps でつなぐネットワークを構築し、オープンサイエンスの基盤を支えています。

統計数理研究所 The Institute of Statistical Mathematics

大規模・複雑なデータに基づく統計数理科学の中核的研究機関として、先端的な基幹研究を推進し、横断型の研究分野である特性を活かし、ネットワーク型の共同研究により、リスク科学、次世代シミュレーション、調査科学、統計的機械学習、ものづくりデータ科学、医療健康データ科学などの研究成果を社会に還元しています。また、様々なレベルの統計思考に関わる人材育成プログラムを展開し、我が国で急務となっている統計エキスパート人材の育成にも注力しています。



統計数理研究所 統計科学スーパーコンピュータシステム (右上)、データ同化スーパーコンピュータシステム (左下)

国立遺伝学研究所 National Institute of Genetics

生命の謎に遺伝情報という切り口から挑む、遺伝学の基礎とその応用に関する総合的な研究を行っています。細胞機能、発生・分化、進化・多様性、ゲノム・生命情報などについて最先端の研究をおこなうと同時に、生命科学の新たな研究分野の開拓に挑戦しています。さらに、大学共同利用機関としてゲノム解読/生命情報データベース/バイオリソース/フェノタイプ研究推進事業を展開することで生命科学に関わる学術・産業コミュニティに遺伝学の先端的な共同利用・共同研究の場を提供しています。



国立遺伝学研究所 バイオリソースの開発と提供

データサイエンス共同利用基盤施設 Joint Support-Center for Data Science Research

「データサイエンス (データ駆動型研究)」を全国規模で推進し、科学や社会の課題を解決する共同利用・共同研究拠点として 2016 年に設置されました。

2024 年から従来の役割を発展させ、新しいサービスをインキュベートする機能を拡充します。これにより革新的な科学分野へ果敢に挑戦し、時代の要請に先駆けた取組を行い、新しいサービスの創出を目指します。(2026 年 10 月に未来科学システム共創施設に名称変更予定。)

多様なニーズの高度化に応える共同利用・共同研究

人間文化研究機構

▶ 主な共同利用の研究設備

- ・高分解能マルチコレクタICP質量分析装置
- ・軽元素安定同位体比測定用質量分析装置
- ・X線透視CTスキャン装置 等

▶ 主な共同利用の研究資料・データ

- ・情報基盤システム nihuBridge (歴史学、国文学、言語学、地球環境学、民族学、文化人類学、民俗学等の資料・研究成果)
- ・言語資源 (コーパス)
- ・書籍 (和漢書、古典籍、古文書等の原本・写本・マイクロフィルム等)
- ・標本資料 (民族学、文化人類学、歴史学、考古学、民俗学等)
- ・映像音響資料 (日本映画、伝統芸能、民族文化等)

▶ 特色のある共同利用・共同研究のメニュー

各機関は、全国の大学等では個別に収集し得ない各専門分野における膨大な研究資料やデータベース、実験施設を有しています。所蔵資料の他機関への貸し出しや機構外研究者による資料調査、大学におけるゼミなどにも利用されるなど、

国内外の研究機関・研究者の共同利用・共同研究に供しています。

さらに、nihuBridge等情報基盤システムや解析ツールなどの構築、運用を推進し、人間文化に関する研究資源の共有化を促進しています。

※共同研究の公募等は各機関で行っています。

国立歴史民俗博物館 共同利用型共同研究公募

<https://www.rekihaku.ac.jp/research/list/joint/index.html>

国文学研究資料館 共同研究 (一般) / 共同研究 (課題)

https://www.nijl.ac.jp/r-activity/joint_research/core/

国立国語研究所 異分野融合型共同研究 / 共同利用型共同研究

<https://www.ninjal.ac.jp/research/cfp/>

国際日本文化研究センター 共同研究

<https://www.nichibun.ac.jp/ja/research/#coop>

総合地球環境学研究所

<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/share/>

国立民族学博物館 共同研究 (一般) / (若手)

<https://www.minpaku.ac.jp/research/project/iurp/offer>

共同利用・共同研究のお問い合わせ窓口

人間文化研究機構 事務局 研究企画課 研究支援係 電話 03-6402-9244 E-mail shien@nihu.jp

自然科学研究機構

▶ 主な共同利用の研究設備

- ・すばる望遠鏡
- ・アルマ望遠鏡
- ・極端紫外光研究施設 UVSOR

▶ 主な共同利用の研究資料・データ

- ・災害に備えた生物遺伝資源の保存・管理 (バイオバックアッププロジェクト)
- ・バイオイメージング支援
- ・大学連携研究設備ネットワークによる各種研究設備
- ・ナショナルバイオリソースプロジェクトにおけるメダカ等

▶ 特色のある共同利用・共同研究のメニュー

国立天文台 共同利用観測・スーパーコンピュータ・天文データアーカイブ・先端技術センター及びスペースイノベーションセンターの施設利用・アルマ共同科学研究事業・共同開発研究・研究集会補助・光赤外線天文学大学間連携事業 (OISTER)・大学 VLBI 連携

核融合科学研究所 一般共同研究・基盤施設型共同研究・核融合開発共同研究・課題提案型共同研究・研究コア提案型共同研究

基礎生物学研究所 超階層生物学共同利用研究・新規モデル生物開発共同利用研究・個別共同利用研究・統合ゲノミクス共同利用研究・統合イメージング共同利用研究・大型スペクトログラフ共同利用実験・生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究・研究会・トレーニングコース

生理学研究所 一般共同研究・研究会・計画共同研究 (生理学研究所)・計画共同研究 (動物資源共同利用研究センター)・国際研究集会・生体機能イメージング共同利用実験

分子科学研究所 課題研究・協力研究・研究会・若手研究活動支援・分子科学国際研究集会・UVSOR施設利用・機器センター施設利用・装置開発室施設利用

アストロバイオロジーセンター アストロバイオロジー関連装置の共同利用・公募研究 (プロジェクト研究)・大学共同研究・ABCシンポジウム・研究集会補助

生命創成探究センター ExCELLS連携研究・ExCELLS課題研究 (一般)・ExCELLS課題研究 (シーズ発掘)・一般共同利用研究・ExCELLSプロジェクト研究・糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点 (J-GlycoNet) 共同研究

共同利用・共同研究のお問い合わせ窓口

自然科学研究機構 事務局 研究協力課 電話 03-5425-1325 E-mail nins-kenkyu@nins.ac.jp

高エネルギー加速器研究機構

▶主な共同利用・共同研究の研究設備

- ・Bファクトリー (SuperKEKB + Belle II)
- ・フォトンファクトリー (放射光実験施設)
- ・ニュートリノ実験施設
- ・ハドロン実験施設
- ・物質・生命科学実験施設 (MLF)
- ・低速陽電子実験施設 (SPF)
- ・先端加速器試験施設 (ATF)
- ・超伝導リニアック試験施設 (STF)
- ・小型エネルギー回収型線形加速器 (cERL)
- ・スーパーコンピュータシステム
- ・元素選択型質量分離実験装置
- ・クライオ電子顕微鏡

▶主な共同利用・共同研究の研究手段

- ・衝突型加速器実験
- ・放射光、中性子、中間子、ミュオン、ニュートリノ、低速陽電子の利用研究
- ・加速器関連技術の開発 (超伝導、低温他)

▶特色のある共同利用・共同研究のメニュー

加速器科学国際育成事業 (IINAS-NX) IINAS-NXでは、加速器科学および加速器を用いた研究分野の研究者および研究支援者の人材育成を行っています。高校生から若手研究者までを対象に、大学や研究所の研究者が協力して開催する国内外の様々なスクールや教材の開発を広く公募し、支援しています。また教育用の電子線型加速器 (KETA) を用いたセミナーの開催、若手研究者や学生の海外機関との交流支援、全国の技術者を対象とした研修や事務職員 (IU-REAL 構成法人からも参加) の国際業務研修なども行なっています。

マルチプローブ共同利用実験 量子ビーム2つ以上を用いて実施する研究プロジェクトをマルチプローブ研究と呼びます。KEK 物質構造科学研究所 量子ビーム連携研究センターでは、フォトンファクトリーの放射光、J-PARC の中性子とミュオン、低速陽電子実験施設の低速陽電子という4つの量子ビームを備えた研究所であるメリットを生かし、これまでにない量子ビーム連携研究分野を創成することを目指して、マルチプローブ共同利用実験課題を公募しています。

共同利用・共同研究のお問い合わせ窓口

高エネルギー加速器研究機構 研究協力課 電話 029-864-5129 E-mail kenkyo1@mail.kek.jp

情報・システム研究機構

▶主な共同利用の研究設備

- ・SINET 6 (Science Information NETwork 6)
- ・低温実験施設
- ・二次イオン質量分析計
- ・顕微ラマン分光分析装置
- ・統計科学スーパーコンピュータシステム
- ・データ同化スーパーコンピュータシステム
- ・生命科学系スーパーコンピュータシステム

▶主な共同利用の研究資料・データ

- ・DDBJ (DNA Data Bank of Japan) 提供データ・ツール
- ・生命科学系データ (グラフ構造化データ等)・各種解析ツール
- ・極域関係資料 (アイスコア、隕石、北極域データアーカイブシステム等)
- ・日本人の国民性調査と国際比較調査
- ・産学連携によるRadonPy 高分子物性データベース
- ・モデル生物リソース/データベース
- ・人文学データセット (古典籍、くずし字等)
- ・NII 研究データ基盤 (NII Research Data Cloud : NII RDC)
- ・情報学研究データリポジトリ (NII IDR)

▶特色のある共同利用・共同研究のメニュー

ROISは国内外の大学や研究機関との公募型共同研究を推進しており、毎年2,000名以上の研究者を受け入れています。大型研究機器等の共同利用のほか、各種データベースの提供、共同研究の企画実施に向けた研究集会の支援など、機構が保有する研究資源を活用して新たな学術研究の発展に取り組んでいます。

戦略的研究プロジェクト 異分野融合や新分野開拓、地球規模課題・社会課題への対応などにROISの研究者と共に取り組む研究プロジェクトを支援します。

<https://www.rois.ac.jp/research/senryaku.html>

研究者交流促進プログラム 国内の研究者が所属機関のサバティカル制度を活用してROISで研究活動を行うに当たり、不在期間に必要な非常勤講師の人件費などを支援します。

<https://www.rois.ac.jp/research/rep.html>

共同利用・共同研究の申し込み 各研究所の共同利用・共同研究は、専用システムJROISまたは研究所を通じてお申し込みください。

(極地研・情報研・統数研・遺伝研)

<https://jrois2.jrois.rois.ac.jp/>

共同利用・共同研究のお問い合わせ窓口

情報・システム研究機構 産学連携・知的財産室 電話 03-6402-6211 E-mail kenkyo@rois.ac.jp

世界トップレベルの研究機関で博士人材育成

総合研究大学院大学（総研大）は、大学共同利用機関等との緊密な連携及び協力の下に、世界最高水準の国際的な大学院大学として学術の理論及び応用を教育研究して、文化の創造と発展に貢献することを理念に、1988年に我が国最初の国立の独立大学院大学として創設されました。

総研大の最大の特徴は、大学共同利用機関等の世界トップレベルの研究環境を教育の場としている点にあります。

大学共同利用機関等の研究機関（基盤機関）は、個々の大学では整備できない大規模な施設・設備、大量のデータや貴重な資料等の研究資源を全国の大学の研究者に提供するとともに、国内外の研究者との多彩な共同研究を通じて、我が国の先端学術を牽引する研究拠点の役割を担っています。

総研大は、そのような基盤機関の優れた研究環境において、各研究分野の豊富な研究者集団を教授陣とし、高度な専門教育を提供します。



総研大葉山キャンパス

詳細は、こちらのWebサイトをご覧ください。
<https://www.soken.ac.jp/features>



先端学術院

総研大は、大学院の研究科に相当する教育研究上の基本組織として、先端学術院を置いています。

先端学術院には、世界トップレベルの大学共同利用機関等の研究環境を教育の場とした、多彩な専門分野を持つ20のコースが展開しており、大学共同利用機関等の枠組みや専門領域を跨ぐ柔軟な大学院教育プログラムを通じて、学術及び社会の様々な複合的課題に挑戦できる博士人材を育成します。

20 コース

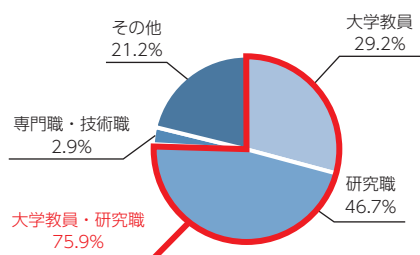
- 人類文化研究
- 国際日本研究
- 日本歴史研究
- 日本文学研究
- 日本語言語科学
- 情報学
- 統計科学
- 素粒子原子核
- 加速器科学
- 天文学
- 核融合科学
- 宇宙科学
- 分子科学
- 物質構造科学
- 総合地球環境学
- 極域科学
- 基礎生物学
- 生理科学
- 遺伝学
- 統合進化科学

先端学術院の基盤となる研究機関

- 国立民族学博物館
National Museum of Ethnology
- 国際日本文化研究センター
International Research Center for Japanese Studies
- 国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History
- 国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature
- 国立国語研究所
National Institute for Japanese Language and Linguistics
- 国立情報学研究所
National Institute of Informatics
- 統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics
- 素粒子原子核研究所
Institute of Particle and Nuclear Studies
- 加速器研究施設・共通基盤研究施設
Accelerator Laboratory / Applied Research Laboratory
- 国立天文台
National Astronomical Observatory of Japan
- 核融合科学研究所
National Institute for Fusion Science
- 宇宙科学研究所
Institute of Space and Astronautical Science
- 分子科学研究所
Institute for Molecular Science
- 物質構造科学研究所
Institute of Materials Structure Science
- 総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature
- 国立極地研究所
National Institute of Polar Research
- 基礎生物学研究所
National Institute for Basic Biology
- 生理学研究所
National Institute for Physiological Sciences
- 国立遺伝学研究所
National Institute of Genetics
- 統合進化科学センター
Research Center for Integrative Evolutionary Science

修了生の多くが研究者として活躍

修了生の約76%が、修了10年後研究者として活躍しています。



※ 2001年～2008年の修了者の10年後の追跡調査結果より
(FACTBOOK2020 総研大)

充実した学生支援



研究支援

SOKENDAI研究派遣プログラムや国際共同学位プログラムにより、国内外の長期共同研究等に取り組む学生をサポートします。



経済的支援

リサーチ・アシスタント制度や授業料免除制度、SOKENDAI特別研究員制度等により、優秀な学生の研究活動を経済的にサポートします。

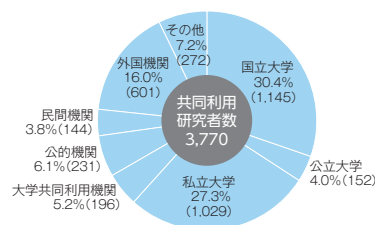
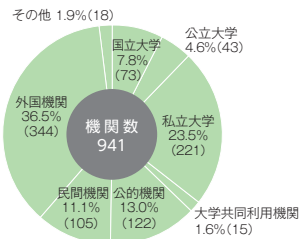
アライアンスを構成する5法人の活動データ

大学共同利用機関法人 ー 共同利用・共同研究 ー

研究者の受入状況

(2024年度)

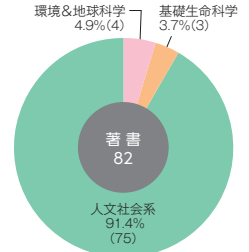
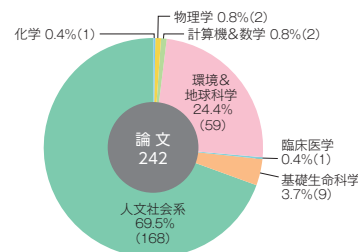
人間文化研究機構



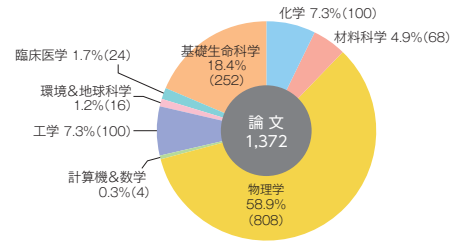
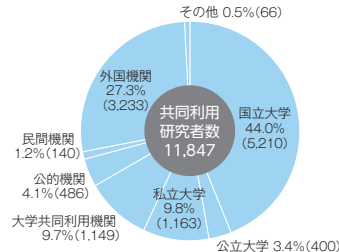
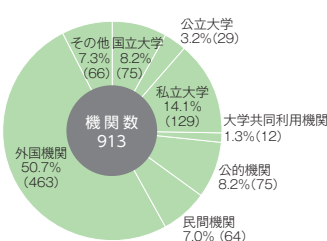
分野別の論文数

注：機構の研究者が著者に含まれて
いる論文

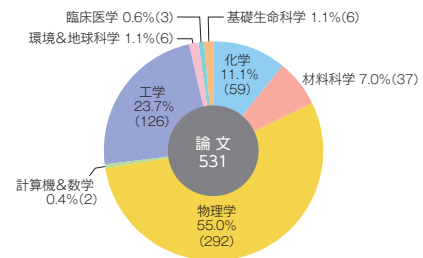
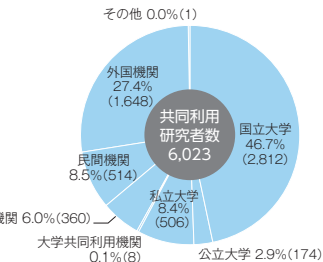
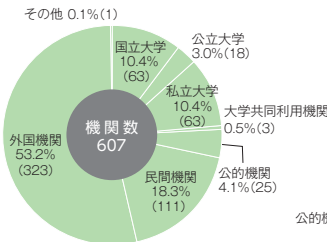
(2024年度)



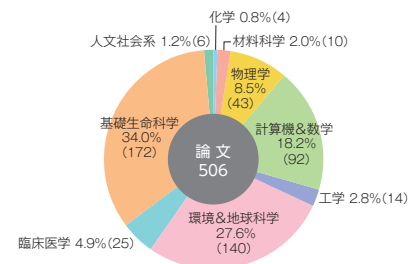
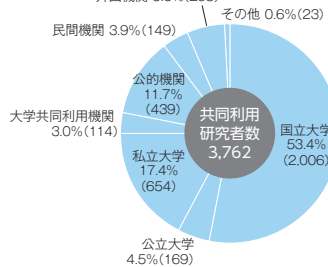
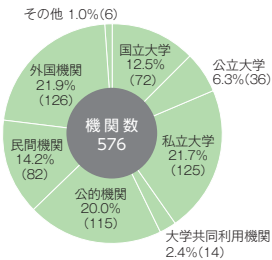
自然科学研究機構



高エネルギー加速器研究機構



情報・システム研究機構



総合研究大学院大学 ー 学生数・博士学位授与状況 ー

学生数

(2025年5月1日現在)



560名

博士学位授与状況

(2025年度)



95名

※95名のうち、8名は単位取得退学後、
所定の期間内に出席し学位を取得したもの

博士学位授与状況

学位名	1991～2021	2022	2023	2024	2025	計
文学	130 [35] (54)	2 [1] (2)	2 (3)	3 (1)	10 [1] (1)	147 [37] (61)
学術	328 [32] (72)	5 [1]	7 [2] (2)	6 [1]	8	354 [36] (74)
理学	1,428 [71] (101)	52 [7] (3)	50 [4] (4)	42 [3] (2)	48 [4] (1)	1,620 [89] (111)
工学	169 [7] (42)	9 [1]	2 (1)	5	3 [1]	188 [9] (43)
統計科学	61 [6] (3)	9 [1]	7 [1]	5	12	94 [8] (3)
情報科学	206 [19] (0)	19	12 [1]	11	14 [2]	262 [22] (0)
脳科学	1 [0] (0)					1 [0] (0)
医学	15 [2] (0)	1 [1]				16 [3] (0)
合計	2,338 [172] (272)	97 [12] (5)	80 [8] (10)	72 [4] (3)	95 [8] (2)	2,682 [204] (292)

※ [] は単位取得退学後、所定の期間内に出席し学位を取得したもので、内数。
※ () は論文博士で外数。

<https://www.nihu.jp/>



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

人間文化研究機構

National Institutes for the Humanities

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
TEL. 03-6402-9200

国立歴史民俗博物館 ①

〒285-8502
千葉県佐倉市城内町117
<https://www.rekihaku.ac.jp/>

国文学研究資料館 ②

〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
<https://www.nijl.ac.jp/>

国立国語研究所 ③

〒190-8561
東京都立川市緑町10-2
<https://www.ninjal.ac.jp/>

国際日本文化研究センター ④

〒610-1192
京都府京都市西京区御陵大枝山町3-2
<https://www.nichibun.ac.jp/>

総合地球環境学研究所 ⑤

〒603-8047
京都府京都市北区上賀茂本山457-4
<https://www.chikyu.ac.jp/>

国立民族学博物館 ⑥

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1
<https://www.minpaku.ac.jp/>

共同利用・共同研究
お問合せ

人間文化研究機構 事務局 研究企画課 研究支援係
shien@niu.jp

<https://www.nins.jp/>



自然科学研究機構

National Institutes of Natural Sciences

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
TEL. 03-5425-1300

国立天文台 ⑦

〒181-8588
東京都三鷹市大沢2-21-1
TEL. 0422-34-3600
<https://www.nao.ac.jp/>

核融合科学研究所 ⑧

〒509-5292
岐阜県土岐市下石町322-6
TEL. 0572-58-2222
<https://www.nifs.ac.jp/>

基礎生物学研究所 ⑨

〒444-8585
愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
Tel. 0564-55-7652
<https://www.nibb.ac.jp/>

生理学研究所 ⑩

〒444-8585
愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
Tel. 0564-55-7700
<https://www.nips.ac.jp/>

分子科学研究所 ⑪

〒444-8585
愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
Tel. 0564-55-7418
<https://www.ims.ac.jp/>

共同利用・共同研究
お問合せ

自然科学研究機構 事務局 研究協力課
nins-kenkyu@nins.ac.jp

<https://www.kek.jp/>



高エネルギー加速器研究機構

High Energy Accelerator Research Organization

つくばキャンパス ⑫

〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
TEL. 029-879-6047

素粒子原子核研究所

<https://www2.kek.jp/ipns/>

物質構造科学研究所

<https://www2.kek.jp/imss/>

加速器研究施設

<https://www2.kek.jp/accl/>

共通基盤研究施設

<https://www2.kek.jp/ar/>

量子場計測システム国際拠点

<https://www2.kek.jp/qup/>

東海キャンパス ⑬

〒319-1106
茨城県那珂郡東海村白方203番地1
TEL. 029-284-4851

J-PARCセンター

<https://j-parc.jp/>

共同利用・共同研究
お問合せ

高エネルギー加速器研究機構 研究協力課
kenkyo1@mail.kek.jp

<https://www.rois.ac.jp/>



大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構

情報・システム研究機構

Research Organization of Information and Systems

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
TEL. 03-6402-6200

国立極地研究所 ⑭

〒190-8518
東京都立川市緑町10-3
<https://www.nipr.ac.jp/>

国立情報学研究所 ⑮

〒101-8430
東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター
<https://www.nii.ac.jp/>

統計数理研究所 ⑯

〒190-8562
東京都立川市緑町10-3
<https://www.ism.ac.jp/>

国立遺伝学研究所 ⑰

〒411-8540
静岡県三島市谷田1111
<https://www.nig.ac.jp/>

データサイエンス
共同利用基盤施設 ⑱

〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
データサイエンス棟
<https://ds.rois.ac.jp/>

共同利用・共同研究
お問合せ

情報・システム研究機構 産学連携・知的財産室
kenkyo@rois.ac.jp

<https://www.soken.ac.jp/>

総合研究大学院大学

The Graduate University for Advanced Studies, SOKENDAI

葉山キャンパス ⑲

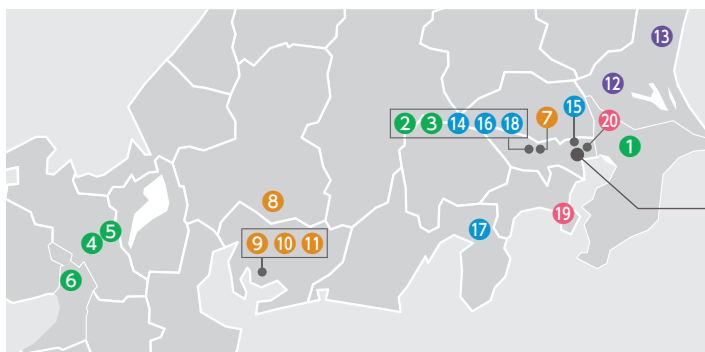
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
TEL 046-858-1500

東京オフィス ⑳

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-17
八重洲香川ビル6階

お問合せ

総合研究大学院大学 総合企画課 広報社会連携係
kouhou1@ml.soken.ac.jp



● 人間文化研究機構 ● 自然科学研究機構 ● 高エネルギー加速器研究機構 ● 情報・システム研究機構
● 総合研究大学院大学



最寄り駅: 東京メトロ日比谷線神谷町駅(出口4b徒歩約2分)

【ヒューリック神谷町ビル2階】

人間文化研究機構

自然科学研究機構

情報・システム研究機構

の本部が置かれています。